



新しい年を迎えて

株主の皆さまには、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ると、改正労働者派遣法が10月1日に施行されたほか、改正労働契約法や改正高年齢者雇用安定法が今年4月から施行されることが決まり、国内の労働市場に大きな影響を与える法律が改正され、当社事業を取り巻く環境が変化した1年でした。

当社はこうした環境の変化に対して、「社会の問題点を解決する」という創業以来、不変の企業理念のもと、今年も「年齢や性別に関わらず、誰もが自由に好きな仕事を選択し、一人ひとりの人生設計に合わせた働き方ができる社会。会社と個人がお互いに対等な関係で結ばれ、自由に才能を活かせる社会」の実現を目指してまいります。

社会環境の変化による影響と新たな事業ニーズの拡大

さて、改正労働者派遣法が当社事業に与える影響は軽微ではありますが、30日以内の短期派遣契約で働くことができる人を「世帯年収500万円以上」に限定するなど、今回の法改正がそもそも働く人たちの立場で考えられた法律なのか、働きたい人たちの就労機会を奪うことになっていないか、大変疑問が残るものとなりました。

また労働契約法の改正は、有期労働契約が通算5年を超えたとき、労働者本人が希望すれば、期間の定めのない無期労働契約になるというのですが、現在働いている契約社員やパート・アルバイトの方々に今後その影響が及ぶことが考えられます。労働者の保護が目的とされていますが、雇用期間の有無以上に、雇用形態を問わず福利厚生や健康管理、教育プログラムの充実など格差のない仕組みづくりを構築していくことが、働く側にとっても安心して働き続けることにつながると考えます。

そして、希望者全員を65歳まで雇用することを企業に義務付ける高年齢者雇用安定法の改正は、企業内の人材育成プログラムや賃金モデルの再構築が必要になることから、既に当社にはシニア人材の活用に関して人事コンサルティングの相談が寄せられています。また今後は、新たな再就職支援事業のマーケット拡大へとつながることが考えられます。

「人」がイキイキと活躍できるインフラを提供する

昨年パナグループは、グループ社員や派遣登録スタッフはもとより、未就職の若者や中高年の方々に実施しているキャリア形成プログラムを評価いただき、厚生労働省「キャリア支援企業表彰2012」にて「会長奨励企業」の表彰を受けました。当社は、多様化するニーズに対応し、ソリューション力を持つ「専門プロフェッショナル人財」となる社員育成に努め、派遣登録スタッフには語学や職種別専門講座など5,000講座を超えるパナナレッジを提供し、日々エンployアビリティを高めるキャリア形成プログラムを実施しています。また若年層にはOJTを通じた社会人教育のほか、シニアの方々には経験や人脈を活かしてもらうため、独自に能力開発を実施しています。



また、昨年パソナグループは6,000社の研修実績と400名を超える講師陣を持つキャブラン株式会社を子会社化しました。今年はこれまでのノウハウを活かして、海外に向けた2つの教育プログラムを強化してまいります。

1つ目は、日本国内におけるグローバル戦略人材の育成です。既に昨年から大阪府や岐阜県などの地方自治体から受託しており、これまで香港のパソナエデュケーションを中心に、語学教育と海外でのOJT研修を組み合わせた人材育成プログラムを実施してきました。今年は他のアジア拠点ともより一層連携し、日本企業が求めるグローバル人材を育成することで、若年層未就職者への新たな雇用機会の拡大に努めてまいります。

2つ目は、海外に進出した日本企業の現地外国籍社員を対象にした教育研修プログラムを提供していきます。日本独自の“おもてなし”の精神を研修を通じて現地社員に学んでもらい、日本企業が求めるコンピテンシーを日本語教育と合わせて提供いたします。昨年はベトナム、今年1月からはインド、インドネシアでも開催いたします。

私たちパソナグループは、「**人が心豊かな人生を送れるインフラを提供し、人が夢・希望を持って社会で活躍できる教育を行う。**」今年はこの「人」をキーワードに、グループ一丸となって取り組んでまいります。今後も皆さまからの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2013年2月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

2012年

6月

パソナグループ

www.pasonagroup.co.jp

外国籍人材の帰国就職セミナー「JOB博」を開催

日系企業の海外進出に伴い、現地で活躍できる外国籍人材の採用ニーズが拡大しています。パソナグループは留学生など外国籍人材に母国の就職情報を提供する「JOB博」を開催。のべ3,000人以上のグローバル就労をサポートしました。



企業向けセミナーでは海外10カ国の最新雇用トレンドを話しました

8月

パソナふるさとインキュベーション

www.nojima-scuola.com

兵庫県淡路島の廃校利用 地域活性化拠点「のじまスコラ」オープン

兵庫県淡路島の「旧野島小学校」を改装し、農業の6次産業化を通じて地域活性化を目指す「のじまスコラ」をオープンしました。パソナグループが淡路島で実施している「ここから村プロジェクト」や農業プロジェクトに参加している全国から集まった若者が中心となって運営しています。

レストランでは「アル・ケッチャーノ」のオーナーシェフ奥田政行氏のサポートを得て、地元の食材を使ったイタリア料理を提供しているほか、カフェやレストラン、直売所を通じて地元や当社農場で収穫された野菜、加工品を販売し、地域の方々が交流する拠点となっています。

パソナグループは農業と観光産業等を結び付けて新たな雇用を創造し、地域経済の活性化を目指しています。



「スコラ(scuola)」はイタリア語で「学校」の意味です



マルシェでチャレンジファームの新鮮な野菜や加工品、地元の農・海産物を販売

8月

パソナテック

www.pasonatech.co.jp

新しいワークスタイル「コワーキング」クラウドソーシングサービス「Job-Hub」開始

個人が企業に属することなく、時間や場所にこだわらず自由に仕事を選択し、個人もしくはチームで働くネット上での「コワーキング」を実現する「Job-Hub」を開始しました。インターネット環境さえあれば、個々の能力を活かしてライフスタイルに合わせた働き方が選べる新しいサービスです。新たなワークスタイルを通じて在宅勤務者や個人事業主の就労機会拡大を図っていきます。



10月

パソナフォスター

www.pasonafoster.co.jp

オフィス街にもアクセスしやすい JR東中野駅直結の保育所を開設

駅直結型の東京都認証保育所「エデュケアセンター・ひがしなかの」を開設しました。「忙しい方々を応援し、共に助け合う」をコンセプトに、ランドリーサービス、送迎などのサポートや、専門講師による独自カリキュラムを提供しています。



リトミック、英会話、食育や運動指導など、多様な教育カリキュラムを提供

11月

ベネフィット・ワン

www.benefit-one.co.jp

業界初 スマートフォンで 飲食店の早期予約による割引サービス開始

会員専用サービス「食ベタイム」に飲食店の「早期割引予約」、「席予約」、「事前カード決済」ができるリアルタイム飲食割引マッチング機能を追加しました。今後、加盟店舗を現在の7,000から30,000に拡大していく予定です。



会員は専用サイトから無料で利用できます <https://it.benefit-one.co.jp/>

M&Aによるソリューション領域拡大

前期のM&Aにより、様々な外部人材活用ニーズに対応し、インソーシング(委託・請負)、アウトソーシング・BPO(Business Process Outsourcing)を提供する体制を強化しました。今回はソリューション領域拡大に寄与しているキャプランとビーウィズをご紹介します。

教育・研修/専門派遣

キャプラン株式会社
www.caplan.jp



伊藤忠商事および日本航空の子会社として培ってきたノウハウを活かし、貿易事務や航空・旅行業務などの専門分野に精通した多数の派遣スタッフが活躍しています。また、教育・研修事業「Jプレゼンスアカデミー」では多数の企業、官公庁・自治体から人材育成事業を受託しています。

● グローバル人事管理をサポート

タレントマネジメントシステム「SuccessFactors」は、能力・スキル、成果や潜在の可能性をデータベース化、可視化する人事管理システムです。キャプランはその導入を推進し、グローバルで効果的な人材活用を実現。企業ニーズに応える新しいソリューションを提供しています。

● 「Jプレゼンスアカデミー」(旧JALアカデミー)

航空業界で培った経験とノウハウをベースに、400名以上の講師陣によるコミュニケーション、ビジネスマナー、接客、語学などを磨く講座が充実しています。新人からマネジメント、グローバル人材まで、あらゆる人材育成ニーズに対応する企業研修は約6,000社の実績を誇ります。



マナー研修でビジネスマナー、言葉遣い、電話応対等の基本を習得して、第一印象の向上を図ります



海外赴任者向けの語学、異文化コミュニケーション研修や、現地スタッフ研修の需要が急増しています

詳しい講座情報は <http://jaca.caplan.jp> をご覧ください。

アウトソーシング・BPO

ビーウィズ株式会社
www.bewith.net



派遣からの移行スキーム

● 派遣スタッフ ● 社員



顧客業務の切り出し



更なる効率化



三菱商事の子会社として培ってきた事業マネジメント力、業務分析力、プロジェクトマネジメント力を強みに、インソーシングや、業務効率化をさらに推進するアウトソーシング・BPO事業を推進。企業の業務最適化や経営効率の向上に貢献しています。

BPO/コンタクトセンターでは、約3,000名のカスタマーサービスのプロフェッショナルがお客様とのコミュニケーションを大切にしながら活躍しています。

全国8ヶ所の
BPO/コンタクトセンター



主なサービスメニュー

コンタクトセンター

- 受注・発注センター
- 営業支援
- テクニカルサポート

バックオフィス(事務処理)

- 営業事務
- 給与計算
- 人事管理
- 総務・庶務・受付
- 資料送付

マーケティング

- 広告・宣伝
- 市場調査
- 販売促進
- コミュニケーション分析

大阪新拠点「パソナグループビル」オープン

大阪に新拠点「パソナグループビル」をオープンしました。“アート”をテーマに、パソナハートフルの絵を各フロアに展示。お客様や社員が心豊かに過ごせる空間を構築し、BPOセンターとしての役割はもとより、更なる雇用創造に向けて様々な活動を行っています。

「アートビル」として約200点の絵画を展示

オープニングイベントとして「アート村作品展2012」を開催し、知的障害を持ったアート村アーティストが既成概念にとらわれない自由な感性で描いた大作27点をアートギャラリーに展示しました。館内にアート村アーティストの絵画約200点を常設しています。



季節やテーマごとに絵を入れ替え、来館者の目を楽しませています

様々な世代の教育研修とキャリア形成をサポート

若年層や女性、中高年・シニアなど様々な世代の能力を開発する教育研修プログラムを提供しています。また、グローバル人材活用や海外進出、コンプライアンスなど様々なテーマでセミナーやイベントを開催し、積極的な情報発信を行っているほか、カフェや多目的スペースを設けて社内外の交流を促進しています。



解放的な雰囲気のカウンセリングスペースでキャリア相談や仕事案内を行っています

パソナグループビル OSAKA



住所：大阪府中央区淡路町4-2-15

最寄り駅：地下鉄御堂筋線 本町駅 2番出口、
淀屋橋駅 13番出口

エキスパート社員の福利厚生を拡充

エキスパート社員（派遣スタッフ）のキャリアアップを支援する研修制度をさらに充実。ワークライフ・バランスを支援するため、「知・健・美」をテーマに教養・趣味や健康を育む「パソナ倶楽部」で語学、料理やエクササイズなど様々な講座を開催しています。



総数500席のBPOセンター

業務プロセスを一括受託するBPOを強化するため、「BPOセンター」を設置しました。経営を効率化するBPOのニーズが高まっていることから、国内外の拠点を活用した提案を進めており、関西でもBPOを強化していきます。



障害者就労支援のパイオニアとして～パナハートフル設立10年～

設立10年を迎えたパナハートフルは、「才能に障害はない」をコンセプトに障害者がイキイキと働く場を創出してきました。職域開拓、人材育成の経験とノウハウを活かし、企業の障害者雇用促進やCSR活動のコンサルティングにも注力しています。

オフィス業務



郵便物仕分け、印刷業務やデータ入力などをグループ会社から受託し、プロフェッショナルとしてオフィス業務をサポート

サポートサービス



セミナーや職場見学など障害者雇用の理解促進に努め、コンサルティングを行っています

ゆめファーム



オフィスでは活躍の難しい重度障害のあるメンバーが農業のブローを目指し、無農薬・有機野菜を栽培しています

パン工房



プロのパン職人の指導のもと、無添加・天然酵母の焼きたてパン、ケーキやクッキーを手作りしてお届けしています

年	障害者就労支援の歩み
1989	障害者の雇用創出を目指して特例子会社「テンポラリーサンライズ」設立 グループ内の業務受託開始
1991	「ビッツバーク交響楽団プライベート・リハーサルコンサート」を開催し、障害者300名を招待
1992	「アート村設立準備委員会」発足 ガラス絵講座開講 「ジャパン・ビルトーン・シンフォニー・オーケストラ」のリハーサルコンサートに障害者400名を招待
1993	全国の障害者アーティストの才能を発掘 第1回「アート村・夢のデザイン大賞」作品展開催
1994	「アート村 六本木」オープン
1996	神戸・ハーバーサカス内に「アート村 神戸」オープン
2003	更なる障害者雇用の拡大を目指して業務受託に加えて、新たな雇用のあり方を提案 特例子会社「パナハートフル」設立
2004	「アート村」アーティスト社員第1号入社
2005	スペシャルオリンピックス長野大会で「アート村作品展」を開催
2006	学校法人武蔵野東学園と共同で「アート村工房・武蔵野」開設 アート村工房商品の通信販売開始 社会福祉法人「実のりの会 ビック・ハート」と共同で「ゆめファーム・八千代」開設
2007	「パン工房・東京」開設
2009	地域に根ざした雇用創造を目指し「アート村工房・流山」開設
2010	「アート村工房・大手町」開設
2011	働きながら学ぶ就労支援プログラム「チャレンジキャリア制度」開始
2012	「アート村工房・大阪」、「パン工房・大阪」開設 東京アメリカンクラブで「アート村作品展」開催

アート村



一人ひとりの障害の度合いや才能に合わせたカリキュラムでガラス絵や絵画を指導し、アーティスト社員を育成

アート村工房



アーティスト社員のデザインをモチーフに、縫製やフラワーアレンジメントなどの得意分野で様々な手工芸品を製作

アート村の詳細い情報はwww.artmura.comをご覧ください。

●法定障害者雇用率の引き上げに対応し コンサルティング事業を強化

2013年4月から法定障害者雇用率が1.8%から2.0%に引き上げられます。それを受けて、様々な自治体の障害者就労支援事業を手掛けてきたノウハウを活かし、障害者の採用から定着までをサポートする企業コンサルティングを強化しています。大阪拠点の開設を機に、関西でも「アート」という障害者の新しい職域を広げると共に、様々な職域開発と雇用機会の拡大に注力していきます。



パナハートフルは2010年より、障害者の雇用について特に優れた取り組みと積極的な社会貢献を行う企業として「障害者雇用優良企業」の認証を受け、「ハートフルリボンマーク」を取得しています。

2013年5月期第2四半期 連結業績

- 売上高は前年同期比+13.3%
売上総利益は+14.6%
- 販管費は戦略投資により増加したものの、営業利益は前年同水準、経常利益は△7.0%
- のれん償却費用などが税効果に影響したことにより
四半期純損失4.5億円

売上高

1,030 億円 (前年同期比 +13.3%)

- M&Aを含むサービスメニュー拡大で増収
- インソーシングはセンター活用による業務集約化など提案領域が広がったほか、派遣からインソーシングへの切替えも実績が積み上がり、順調に拡大
- エキスパートサービスは受注が回復傾向にあることやM&A戦略の奏功により増収
- アウトプレースメントやアウトソーシングも順調に拡大

営業利益

7 億円 (前年同期比 △1.4%)

- 地域活性化事業の立ち上げ、BPOセンターを備えた大阪拠点開設などの先行投資と、M&Aによる新規連結子会社の費用やのれん償却などの戦略投資により販管費が増加したものの、営業利益は前年同水準に

四半期純損失

△4.5 億円 (前年同期は四半期純利益 0.8億円)

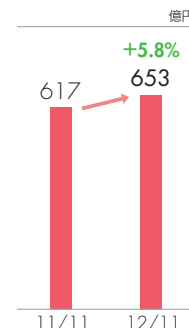
- のれん償却費用などが税効果に影響

セグメント別業績

● HRソリューション エキスパートサービス(人材派遣)

売上高 **653 億円**

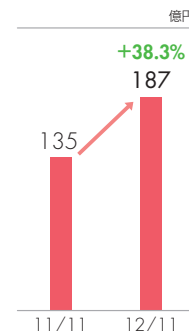
- 企業の派遣需要抑制に歯止めがかかり、受注は回復傾向
- キャプランや安川ビジネススタッフ等の連結子会社化による顧客基盤の広がり、専門人材の拡充、専門派遣強化が奏功し、テクニカルやIT分野が伸長



インソーシング(委託・請負)

売上高 **187 億円**

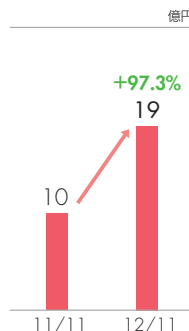
- ビーウィズの連結子会社化による増収に加え、センター活用による業務集約化などの提案を推進
- 派遣からインソーシングへの切替え提案も実績が増加
- 官公庁・自治体等の行政事務代行の受託が増加、緊急雇用事業は横ばい



HRコンサルティング他

売上高 **19 億円**

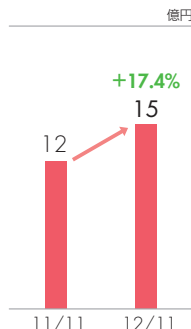
- キャプランが運営する「Jプレゼンスアカデミー」の新規連結などで大幅な増収
- グローバル人材やマネジメントの育成、ビジネスコミュニケーションなど教育・研修の積極的な提案が奏功



プレース&サーチ(人材紹介)

売上高 **15 億円**

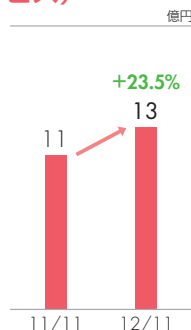
- IT関連、メーカー、医療・福祉業界を中心に即戦力人材の採用意欲が活発化
- 国内業務におけるグローバル人材需要も増加



グローバルソーシング(海外人材サービス)

売上高 **13 億円**

- 現地の日系企業のグローバル人材需要が堅調に推移
- 駐在員の給与計算・労務を一括管理するアウトソーシングサービスの営業戦略が奏功し、アジアと北米で拡大
- 中国・大連のBPO事業子会社とベトナムの現地子会社を今期から連結

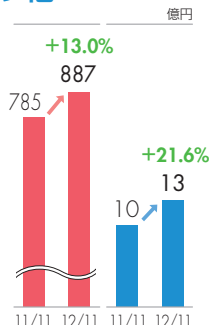


エキスパートサービス、インソーシング他*

売上高 **887 億円** 営業利益 **13 億円**

*エキスパートサービス、インソーシング、HRコンサルティング他、プレース&サーチ、グローバルソーシングの合計

- 売上高、売上総利益は共に増加
- 新規連結子会社の費用やのれん償却に加えて、退職給付費用の一時的増加などの費用を吸収し、増益

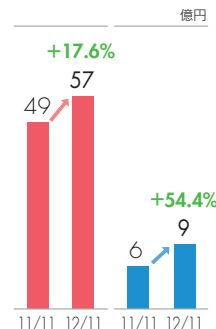


アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 **57 億円**

営業利益 **9 億円**

- 雇用調整を背景に、大手メーカーを中心に営業を強化した結果、受注が大幅に増加
- コンサルタントを増員しつつ、サービス品質維持と生産性向上に努め、再就職決定の早期化に注力
- 65歳までの再雇用義務化を見据えたコンサルティングやキャリア研修など新しい需要も開拓

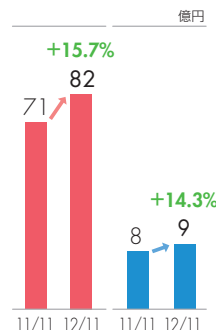


アウトソーシング

売上高 **82 億円**

営業利益 **9 億円**

- 「カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM)事業」と企業の顧客に直接サービスを提供する「パーソナル事業」に注力、「インセンティブ事業」も堅調に推移
- 今期から連結したベネフィットワンソリューションズのコストダウン事業と、ベネフィットワン・ヘルスケアのヘルスケア事業が寄与



●ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 **20 億円** (+7.4%) 営業利益 **0.2 億円** (△61.0%)

- 保育士派遣、学童保育事業の受託増加や、グローバル人材育成プロジェクト受託などで増収となった一方、グループシェアードサービスのIT費用が膨らみ、減益

消去又は全社

売上高 **△16 億円** 営業利益 **△24 億円**

- グループ間取引と持株会社であるパナソニックグループの販管費を含む
- 新規事業インキュベーション及び大阪拠点開設のコストが増大

重点戦略の進捗

①ソリューションサービスの強化

●クラウドサービスを付加した提案を強化

- ・2012年11月に英国テキーラ社と合併で「株式会社パソナ テキーラ」を設立しました。世界10万社以上で導入されているセールスフォース・ドットコム社のクラウドサービスに関するコンサルティングや、エンジニア育成を行っているテキーラ社のノウハウを活用してクラウド技術者を育成、専門人材拡充と共に、クラウドを使った業務効率化提案を強化していきます。

②パブリック(自治体)へ向けた戦略強化

●行政事務代行受託の増加

- ・前期大きく増加した若年層や被災者への就労支援などの緊急雇用案件は横ばいでしたが、強化している総務事務センターや行政窓口業務などの受託が拡大し、行政事務代行分野の売上高は前年同期比+30%増加しました。

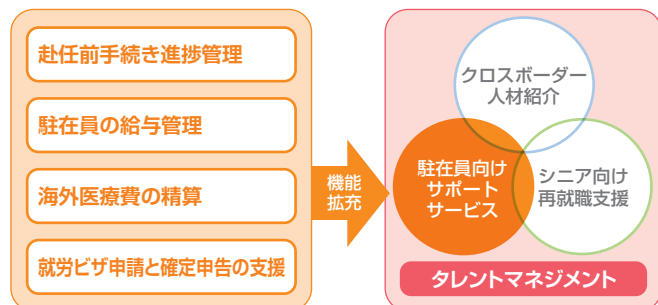
③グローバル事業の深耕・拡大

●ASEANの強化

- ・2013年1月、日系企業の進出が顕著なタイに豊田通商とのJVで「パソナHRコンサルティングタイ」を設立。
- ・キャプランと連携して現地社員を対象とした教育研修プログラムを開発し、提供開始しました。

●アウトソーシングの強化

- ・タレントマネジメントシステム「SuccessFactors」に駐在員向けの様々なサービスを統合し、各国の駐在員の給与・手当等を本社で一括管理する機能を拡充しました。



■セグメント別業績 (セグメント間取引消去前)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
HRソリューション	102,576	3,068
エキスパートサービス(人材派遣)、 インソーシング(委託・請負)他	88,654	1,276
エキスパートサービス(人材派遣)	65,325	
インソーシング(委託・請負)	18,657	
HRコンサルティング他	1,885	1,276
ブレース&サーチ(人材紹介)	1,461	
グローバルソーシング(海外人材サービス)	1,323	
アウトブレースメント(再就職支援)	5,746	916
アウトソーシング	8,176	875
ライフソリューション		
パブリックソリューション	1,966	18
シェアード		
消去又は全社	△1,567	△2,371
合計	102,976	714

2013年5月期 連結業績見通し

- 2012年7月13日に公表した業績予想から変更ありません。引き続き新規連結子会社との連携を進めると共に提案力を高め、更なる事業拡大を目指します。

連結通期業績

	2012年5月期	2013年5月期(予想)	増減率
売上高	1,815億円	2,120億円	+16.8%
営業利益	19.6億円	30.0億円	+52.7%
経常利益	20.9億円	29.0億円	+38.7%
当期純利益	0.3億円	3.5億円	+1,086.4%
1株当たり当期純利益	78.78円	934.57円	+1,086.4%

(単位:百万円)	前第2四半期 (自2011年 6月 1日 至2011年11月30日)	当第2四半期 (自2012年 6月 1日 至2012年11月30日)
売上高	90,880	102,976
売上総利益	16,647	19,070
販売費及び一般管理費	15,922	18,355
営業利益	724	714
経常利益	744	692
四半期純損益	75	△454

(単位:百万円)	前期末 2012年5月31日現在	当第2四半期末 2012年11月30日現在
総資産	70,889	68,768
負債	44,593	44,149
純資産	26,295	24,619
自己資本比率	29.0%	28.5%

主な増減は現金及び預金の減少7,149百万円、有形固定資産の増加1,474百万円等。

主な増減は長期借入金の減少1,303百万円、リース債務の増加949百万円等。

主な増減は四半期純損失454百万円、配当金の支払374百万円、少数株主持分の減少740百万円等。

(単位:百万円)	前第2四半期 (自2011年 6月 1日 至2011年11月30日)	当第2四半期 (自2012年 6月 1日 至2012年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,557	△681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,344	△3,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,077	△3,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,523	15,561

主な増減は税金等調整前四半期純利益654百万円、減価償却費1,253百万円、売上債権の増加688百万円、営業債務の減少765百万円、法人税等の支払額717百万円等。

主な減少要因は有形固定資産の取得による支出1,884百万円、投資有価証券の取得による支出595百万円等。

主な減少要因は長期借入金の返済1,303百万円、連結子会社における自己株式取得目的の金銭信託の設定による支出1,400百万円、配当金の支払790百万円等。

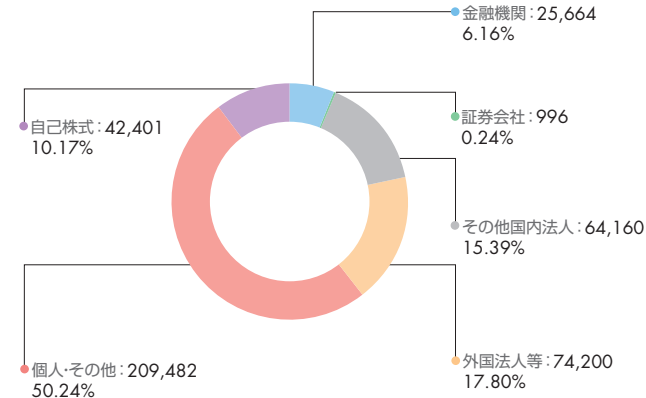
株式の状況

会社が発行する株式の総数: 1,500,000株

発行済株式総数: 416,903株

株主数: 8,105名

所有者別株式数



株主(上位10名)

南部靖之	147,632株 (35.41%)
株式会社パナナグループ(自己株式)	42,401株 (10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	37,378株 (8.97%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー505223	32,314株 (7.75%)
株式会社サンリオ	12,000株 (2.88%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	9,148株 (2.19%)
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,980株 (1.67%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	6,811株 (1.63%)
パナナグループ従業員持株会	6,157株 (1.48%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー505225	6,041株 (1.45%)

※自己株式42,401株(発行済株式総数に対する所有割合10.17%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有しておりません。

代表取締役グループ代表	南部 靖之
取締役会長	竹中 平蔵
取締役専務執行役員	深澤 旬子
取締役専務執行役員	山本 絹子
取締役専務執行役員	若本 博隆
取締役常務執行役員	仲瀬 裕子
取締役	佐藤 司
取締役	森本 宏一
取締役	鈴木 雅子
取締役	渡辺 尚
社外取締役	平澤 創 ^{*1,3}
社外取締役	衛藤 博啓 ^{*1,3}
社外取締役	後藤 健 ^{*1,3}
常勤監査役	肥後 一雄
社外監査役	船橋 晴雄 ^{*2,3}
社外監査役	松浦 晃一郎 ^{*2,3}
社外監査役	野村 周央 ^{*2,3}

*1 取締役の平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

*2 監査役の船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

*3 平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会社概要

社名	株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)
本社	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
グループ本部	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
創立	1976年 2月16日
設立	2007年 12月3日
資本金	50億円
事業内容	人材関連事業を行うグループ会社の経営戦略 策定、業務支援、経営管理ならびに雇用創造に 係わる事業開発等

株式会社パナグループ

Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp



この株主通信は「FSC®認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。

証券コード	2168
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)

IRメール
登録の
ご案内

パナグループIRサイトでは、IR情報をタイムリーにお知らせするメール配信の登録を受け付けています。下記アドレスにアクセスの上、是非ご登録ください。

www.pasonagroup.co.jp/ir



表紙の絵:「和風タペストリー」

佐竹 未有希(知的障害)

パナグループのアーティスト社員として絵を描くことを仕事にしています。ガラス絵を中心に、アート村工房商品のデザイン画作成を得意としています。「綺麗な色とりどりの和紙を買ってきて、コラージュして、丁寧に描き写しました。細かい模様を描くのがとても大変でした。」(本人談)

パナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。アート村アーティストの作品を使った様々なオリジナル商品を企画し、企業のCSR活動のお手伝いをしています。